

はたらき人

沖縄信徒聖書学校
沖縄聖書神学校

〒903
沖縄県那覇市
首里石嶺4-356
事務局
聖書学校
☎(098)937-8988
神学校
☎(098)884-4152

今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであらう。それが、あなたがたに与えられるしるしである。(ルカ一・一一)

主の御降誕を心からお祝い致しますよ。

神様は長い間ユダヤの人々が待望しておりました指導者、救い主の誕生を短い御言葉の中にわかり易くお示しになりました。

私共が未知の世界へ足を踏み入れるとき、不安が先に立つものではないでしょうか。道路には標識があり、ドライバートにとって心強いものです。

神様は救い主がダビデの家系からお生まれになるとお示しになられたのです。それまで多くの王が出現したにも拘らず、ダビ



救い主のしるし

沖縄信徒聖書学校
校長 松田善弘

彼の町と明確に示されたのです。彼の家系は厚い信仰によって受け継がれていた。神の恵みは信仰によって受け継がれる賜物である。救い主はダビデの町以外では誕生しなかったのです。

あなたがたのため

にとは、私達のためである。誰のためでもない。私のためである。ダビデの町は小さな国であり、貧しい国であった。貧しい人々にとって救国主の出現は待ち遠しいものであった。(盲人は見え、足なえは歩き、らい病人はきよまり、耳しいは聞こえ、死人は生きかえり、貧しい人々は福音を聞かされてゐる)。マタイ一・一五

福音は貧しい者への神の良い知らせなのである。

主なるキリスト

がお産まれた。当時のユダヤ人にはメシヤとしては、親しまれた言葉であったが、キリスト(油を注がれた者)としての呼び名には余り馴染まなかった。王で

あり、祭司であり、預言者であり、神の真理を携えて民衆の前に立つ者である。その様なお方が私共の主としてお生まれになったのである。しかも

飼葉おけの中

に布でくるまって寝ている王、この布はある翻訳では(おむつ)である。王として生まれた方が、おむつにくるまって民衆の前に出て来ることは恥づかしいことである。王家の後継ぎとして生まれた子が何の飾り気もないまま、馬小屋の飼葉おけの中で寝かされていた。どうしてこのような赤子に、我々を救い得る様な力、権威があるのだろうか。羊飼いは幼子に会い、大いなる喜びに満たされているのである。

羊飼いは語られた天使の言葉は神の言葉であった。旧約聖書の中の預言者達によって語られた御言葉が、今、まさに成就されたのである。

それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。(イザヤ七・一四)

羊飼いは、見聞されたことが何もかも自分たちに語られたとおりであったので、神をあがめ、ま

〈四頁へつづく〉



▲ 第20回 聖書学校卒業式 (3月26日)



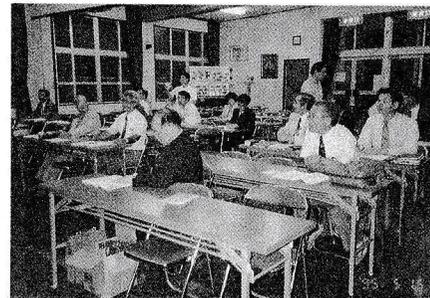
▲ 第4回 神学校卒業式 (3月19日)



▲ 第22回 聖書学校入学式 (4月4日)



▲ 信徒養成コース卒業式



▲ 第22回 定期総会 (5月15日)



▲ 第7回 神学校入学式 (4月9日)

第二二回定期総会報告

去る五月一日午後七時三〇分より、沖縄祈禱院において、聖書学校神学校の第二二回定期総会が開かれ、協力教会二五教会中一七教会より代議員が送られた。

開会礼拝後議長に金城信一郎牧師を選出し、聖書学校および神学校の諸報告がなされた。続いて一九九五年年度の学事計画、予算等について熱心な討議がなされた。さらに次期校長の紹介、次期役員の変更が行われた。

◎一九九五年年度予算

。聖書学校

一、三六一、三九〇円(うち協力教会献金三五万円、特別献金一五万円)

。神学校

一、三三〇、〇〇〇円(協力教会献金三六万円、特別献金五万円)

〈一頁より〉

た、さびしながら家路についたのである。

神のなさることは余りに大きく、理解に苦しむこともしばしばありますが、信仰はそれを喜んで受容出来ます。クリスマスは喜びの日です。

